

REAL4(Ver1.33)

【機能追加・仕様変更】

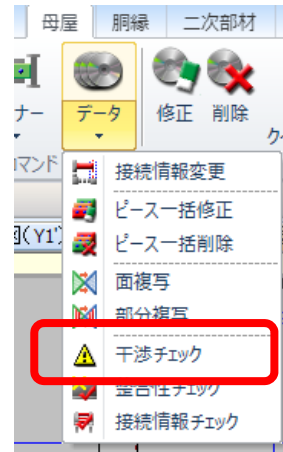
平成 27 年 4 月 6 日

【配置】

- ①3D ビューワ起動したまま配置入力を行うと メモリー不足になる場合があったので修正しました。
- ②端部サイズと中央梁のサイズの差が 100 以上の場合フィルター処理を行わないようにしました。(要望にて)

【母屋・胴縁配置】

- ①干渉チェック機能を追加しました。(要望にて)



不具合修正内容

配置	側面を入力した部材向き縦の R 梁の上・下に間柱が取り付けいたときのスチフナーと平面で入力した部材向き横の R 梁の左右に梁が取り付けいたときのスチフナーの端部の入りがおかしかったので修正しました。
	梁-梁間に溶接接続している間柱が上側のみ切欠いて下側が切り欠かなかったので修正しました。
	仕口絞り時 上下で下がった梁の接続が一番上の通しダイアになっている場合があったので修正しました。
	上下で下がった梁を梁貫通すると 梁のウェブが反対側まで伸びる場合があったので修正しました。
胴縁配置	胴縁ピースマスターで長穴を設定したが縦と横の設定を見ていなかったのを修正しました。
	位置指定で接続ピースを配置したとき ずれ量でずらすことができなかったので修正しました。

	<p>胴縁支持ピースでL形鋼のフランジ部分配置しようとしたときに、溶接しろがとれなかったので修正しました。</p> <p>胴縁の部材を置き換えていたらメモリーを取ってしまい、エラーになる場合があったので修正しました。</p> <p>PLピースの角度ピース化許可で自動サイズ調整するにしたとき、接続反転を行うとピースのサイズが変わってしまう場合があったので修正しました。</p>
アンカープラン図	アンカーボルト径で共通部材マスター-部材マスターで手入力したサイズがあるとナットの大きさが違って作図していたので修正しました。
継手基準図	角パイプの端部部品がCT、継手を鋼材継手(Tガセット)の場合、継手マスター作図表示・継手基準図にCTを表示していなかったため修正しました。
梁詳細図	<p>合掌の梁の梁詳細図で突合せ部分からの寸法と端部の追い寸が重なっていたので修正しました。</p> <p>胴縁の端部をCTで接続ピースで取り合った場合断面図にピースが表示されない場合があったので修正しました。</p>
ブレース詳細図	剛ブレースのスプライスの板厚寸法の材質マークが1個の要素になっていなかったため修正しました。
レイアウト作図	クリッピングで作図した場合 符号文字等のレイヤ参照のチェックが外れていたため修正しました。
データ処理	胴縁ピースや母屋ピースの部品の集約許容誤差がパラメーターの母屋データ作成や胴縁データ作成の型紙・部品集約許容誤差ではなく型紙作成関連の型紙許容誤差を見て集約していたため修正しました。
発注書	コラム発注書で セットバックの仕口のL1、L2の数値が違っていたため修正しました。
型紙	<p>型紙の位置をCSVファイルに落としたとき 図番が-C1等の場合おかしい表示になっていたため修正しました。</p> <p>端部材にCTを使用していて90度回転させている場合にガセット型紙形状が正確に作成できていなかったため修正しました</p> <p>カバープレートの型紙位置情報を親部材で表示するように修正しました。</p>
NC変換	フランジ切口の誤差が0.0003350...と小さい場合もフランジ斜めとして変換されていたため修正しました。

(株) データロジック

〒759-3113 山口県萩市大字江崎 25-1

TEL 08387-2-1129 FAX 08387-2-1866